

1914

Nicht mein Wille -

der Deine geschehe!

1918

Singakademie Tokyo

ジングアカデミー東京 第10回演奏会

J.S. バッハ J.S.Bach

モテット2番《聖霊はわれらの弱さを助け給う》
Motette Nr.2 Der Geist hilft unser Schwachheit auf, BWV 226

モテット5番《来ませ、イエスよ、来ませ》
Motette Nr.5 Komm, Jesu, komm, BWV 229

H. ハウエルズ H.Howells

《彼を抱け、大地よ、慈しむために》
Take him, earth, for cherishingJ.

J. マクミラン J.MacMillan:

《ミゼレーレ》
Miserere

C. グノー C.Gounod:

《十字架上の七つの御言葉》
Les sept paroles du Christ

ほか

指揮
大島 博

器楽

オルガン 田宮 亮 / コントラバス 櫻井 茂

独唱

ソプラノ 星川 美保子 / アルト 志田 理早 / テノール 川西 祐毅 / バス 中川 郁太郎 … ほか

合唱

ジングアカデミー東京

2018. **2.10** Sat.

14:00開場 14:30開演

上野学園 石橋メモリアルホール

前売券 ¥3,000 / 当日券 ¥3,500 / 学生券 ¥2,500

お問い合わせ TEL/FAX 03(3351)0705 金子 singakademietokyo@gmail.com

祈りと救い

人はこの世に生を受けた時から死を運命づけられています。人生は、いわば死へ向かって歩いてゆく巡礼のようなものです。死をどのように受け止め克服するかは、洋の東西を問わず昔も今も大きなテーマであり、音楽の分野でも、古来多くの作曲家によって取り上げられてきました。

今回はその様な作品の中から、葬送のために作曲された J.S. バッハのモテット《来ませ、イエスよ、来ませ》と《聖霊はわれらの弱きを助け給う》、イエスが十字架上で発した御言葉の意味について、古様式に則って解き明かすことを試みた C. グノー《十字架上の七つの御言葉》、凶弾に倒れた J.F. ケネディの思い出に捧げられた H. ハウエルズ《彼を抱け、大地よ、慈しむために》等、私たちに死の意味を問いかける合唱曲を集めました。

身近な人の死、そして自らの死に対し私たちは無力で、ただ祈ることしか出来ません。しかし祈り続ける中で、やがて悲しみは癒され、心に救いが訪れる…。音楽にはそれを助ける力があります。願わくは、今回の演奏にも、なにがしかその力が宿りますように。

大島 博

田宮 亮 (オルガン)

京都大学法学部、東京藝術大学音楽学部器楽科オルガン専攻卒業。東京藝術大学大学院修士課程在学。安宅賞、アカンサス音楽賞受賞。これまでオルガンを木田みな子、大塚直哉、廣江理枝、通奏低音を椎名雄一郎、即興演奏を近藤岳、チェンバロを廣澤麻美の各氏に師事。バルーガオルガン練習室講師。宗研合唱団練習ピアニスト。日本オルガン研究会会員。日本オルガニスト協会会員。

櫻井 茂 (コントラバス)

学習院大学および東京芸術大学卒業。コントラバスを江口朝彦、ヴィオラ・ダ・ガンバを大橋敏成、ローレンス・ドレイフュスの各氏に師事。芸大バッハ・カンタータ・クラブにおいて小林道夫氏の薫陶を受ける。独奏者として国内各地、ヨーロッパ、アメリカ、韓国等で活動。ドレイフュス主宰のコンソート「PHANTASM」には創設以来度々客演、ヴィオローネ奏者としてはバッハ・コレギウム・ジャパン等の古楽合奏団に参加。東京芸術大学及び高知大学講師を経て、上野学園大学准教授。延世大学(ソウル)音楽研究所古楽専門課程特別招聘教授。

大島 博 (指揮)

熊本県生まれ。中央大学法学部卒業後、東京藝術大学音楽学部声楽科に入学。渡辺 高之助、高 丈二、原田 茂生、中山 梯一の各氏に師事。86年、同大学院在学中にミュンヘン音大に留学、エルンスト・ヘフリガーに学ぶ。90-91年 D. フィッシャー=ディースカウに師事。95年東京藝術大学大学院博士課程を修了。宗教曲の分野で、初期バロックから現代作品まで幅広いレパートリーを持ち、とりわけバッハの演奏者として定評がある。また、ドイツ・リート及び日本歌曲の演奏にも積極的に取り組んでおり、自主企画によるリサイタルに加えて各地での客演も数多い。96年からは「ドイツ・リートのためのしみ」と題した、ドイツ歌曲を知るためのレクチャーを継続中。近年は、さらに合唱指揮者、発声指導者としてもその活動の幅を広げている。立教大学大学院キリスト教学研究科特任教授。国立音楽大学非常勤講師。

ジングアカデミー東京 (合唱)

大島 博の呼びかけにより、19世紀ドイツで隆盛を誇った合唱音楽の研究、演奏運動に範を求め、さらに遠く「アカデミア (快樂)」の原義に戻って、「歌う快樂 (Singakademie)」を追求しようと 2009 年発足。各人が自立した音楽家として作品に取り組み、自由な雰囲気の中で有機的なつながりを持つ集合体として、完成度の高い音楽を作り上げることを目指しています。これまでに H. シュッツ「マタイ受難曲」、F. リスト「十字架への道」、H. ディストラ「クリスマス物語」、F. マルタン「2群の4声合唱のためのミサ曲」ハウエルズ「レイイェム」、マクミラン「ミゼレーレ」などを演奏してきましたが、今後も比較的演奏される機会の少ない佳曲に取り組んでいく予定です。

立教大学教会音楽研究所主催 レクチャー・コンサート

1月28日(日) 18:00開演

入場無料

立教学院諸聖徒礼拝堂
(立教大学池袋キャンパス内)

H.ハウエルズ
《彼を抱け、大地よ、慈しむために》

J.マクミラン
《ミゼレーレ》

C.グノー
《十字架上の七つの御言葉》

…ほか

交通アクセス

電車・地下鉄

JR 各線「上野駅」入谷改札より入谷口から 徒歩 8 分
東京メトロ・日比谷線/銀座線「上野駅」1 番出口より徒歩 8 分

バス

台東区循環バス<東西めぐりん(浅草方面)>
「上野駅・上野公園(東京文化会館前)」より乗車、
「上野学園」にて降車、徒歩 0 分、行きのみ。
(めぐりん:所要時間 10 分、15 分間隔で運行)

住所: 上野学園 石橋メモリアルホール
〒110-8642 東京都台東区東上野 4-24-12 学校法人上野学園内

※駐車場はございません。お越しの際は、公共の交通機関をご利用ください。

